

## 虹色畑

私は神奈川県でサラリーマンの家庭に生まれました。マンション住まいで周囲には畑がひとつもなく、当然農家出身のクラスメイトは一人もいないという環境で育ちました。そんな中でも、まだ開発されていない雑木林が近くにあつて、少年時代はたけのこ堀り、クワガタ・カブトムシを捕まえるのに夢中でした。

小学生高学年には世間はファミコン全盛でしたが、我が家は買ってもらえず、自然と屋外で遊ぶことになりました。今では親にとっても感謝しています。

家にいるときは読書と漬けでした。椋鳩十やヘッセの作品をよく読んでいました。また、何でもできる人になりたいて「ロビンソン・クルーソー」に憧れました。



コリンキーと私



ネギ坊主と富士山

自然に憧れた少年がそのまま大人になって、理想の職業が百姓だったのかもしれない。

20歳の頃、潰瘍性大腸炎という難病になり、今までの生活が一転しました。病状が安定せず、仕事を長く続けられないこともしばしば。あらゆる治療法を試みましたが良くならず、結局たどり着いたのが感情のコントロールと生活改善でした。28歳の時、過去を振り返り、富士宮のお茶農家で作業をした時に体調が良かったことを思い出しました。

「一日三度決まった時間にご飯を食べて、昼間は体を動かして、夜は疲れて悩まず寝る。」これができる職業が農業でした。しかも、自分が汗することでも人に喜んでもらえる素晴らしい仕事です。その

後農業大学校に通い、研修を重ね、百姓を目指しました。

そして「農業はサービス業」という言葉に共感して富士宮の農業法人に就職し2年間お世話になりました。

現在、私は富士市に移ってオトワファーム株式会社(照土富士・テラス・ド・フジ)の一員として働いています。戦前から在る農園で温州ミカン、甘夏、キウイフルーツの栽培を引き継ぐ形で法人化となりました。今では野菜、イチジクが加わり、有機農法で育てています。

法人設立と同時に農法を転換して5年目で、始めの2年間は生態系



富士山と農園スタッフ

が安定しないせいか過剰な害虫の発生に悩まされましたが、現在では落ち着き、順調に野菜が育っています。一方で、柑橘類のお世話に手が回らずに枯れてしまう樹も出てきており、樹を守るのが直近の課題です。

農業は誰かのために、誰かの代わりに畑で食べ物を育てる仕事です。当然ですが、決して自給自足であつてはならないですし、またそこに本当の喜びがあるとも思います。

(2015年2月記)

## 虹色畑 伊藤“銀次”崇介

伊藤さんはオトワファームから独立し、神奈川県中井町で新規就農しました。(平成28年1月～)

連絡先:[nijirobatake.blog.fc2.com/](http://nijirobatake.blog.fc2.com/)